

長野県望月高等学校〔全日制課程〕の「3つの方針」

少規模であるがゆえの、生徒一人ひとりに対する手厚い学習指導および相談支援体制を有し、望月地区唯一の高校として地域の自然や人々との強いつながりに根差した「望高教育」の集大成として、以下の方針を掲げます。

1 生徒育成方針

- (1) 確かな知識と教養を身に着け、進路を主体的に捉え社会的自立ができる生徒
- (2) 他者を認め支え合いながら、より良い人間関係が築ける生徒
- (3) 心身ともに健康で、多少の困難には負けない体力と気力を備えた生徒
- (4) 自分が住む地域を理解し、地域発展のため課題発見や解決に向け主体的に学び続ける生徒

2 教育課程編成・実施方針

上記1の資質を有する生徒を育成するために、以下のような教育課程を編成し、広く地域に公開します。

- (1) 2学年から進学・福祉・総合実践の3コース別授業を展開し、興味関心や進路希望に応じてコースを選択し、進路を主体的に捉え学習できるようにする。
- (2) 英語など習熟度別の講座を編成し、学び直しや発展的学習など個別最適化した学習を提供する。
- (3) 生徒一人ひとりに寄り添い、様々な課題や悩みを抱えた生徒に対して十分な支援ができるように、地域の人々や外部機関と連携しながら組織的かつ系統的な教育相談体制の充実を図る。
- (4) 地元の地理・歴史・文化について理解を深めるため、授業を一般に公開し、地域の人々との関りを通じて、地域連携型授業を推進する。
- (5) 福祉や総合実践の授業において、外部人材も含めた複数の教科の教員が協力しながら、探究的で教科横断的な授業を推進し、課題解決能力の増進を図る。

3 生徒募集方針

*募集停止のため、生徒募集方針はなし。